

を勉強でき、群馬の歴史を知ることができました。

「国際理解バス」に参加して
生品小学校 母親委員 川島美智子

とても楽しく参加することができました。六年生の長男と二人で出かけることもあまりないので、いい思い出になると思います。

世界遺産登録された「富岡製糸場」は、れんが造りの繭倉庫が印象的でした。明治初期に建てられているのに、古さを感じさせずに歴史を感じさせてくれたように思います。

一方、全国の繭の約六割が集まるという碓氷製糸場は、まるで昭和の時代に迷い込んでしまったかのような不思議な空間でした。

めがね橋、こんなにやくパークも初めてだったので、とても楽しむことができました。

ひとつすごいなと思ったのは、富岡製糸場でガイドさんが付いたことです。さすがユネスコ協会ですね。そして事務局の方々が、子どもたちの夢や未来に、大きな希望や期待を抱いて下さっていることが感じられ、いいバス旅行でした。皆様お世話になりました。

「国際理解バス」に参加して
宝泉小学校 母親委員 浜辺麻有美

今回娘二人と共に、国際理解バスに参加しました。小学生の頃から上毛かるたの「日本で最初の富

岡製糸」で、富岡製糸の名前は知っていましたが、行った事も、実はどうして世界遺産に登録されたのかもよくわかっていませんでした。

富岡製糸場では、ガイドさんに丁寧に解説していただき、成り立ちから世界遺産に登録されるまでの経緯を詳しく知る事ができました。参加した子ども達がメモを取りながら、熱心に聞いていた姿は、とても印象的でした。

また、碓氷製糸工場では、実際に繭から生糸が出来る様子を見学できるとても貴重な体験をする事もでき、大変勉強になりました。一緒に参加した娘たちも、新しい出会いがあり、行きと帰りでは一回り成長した姿を見ることができました。大変楽しく、有意義な時間をありがとうございました。



太田市近接高校

ユネスコ弁論大会を終えて

副会長 塚越 貴之

今年度も太田市立商業高等学校文化棟ホールで平成二十六年度(第四十五回)太田市近接高校ユネスコ弁論大会を十二月十三日(土)に開催しました。太田市教育委員会からは、太田市教育長様の代理として恩田学校教育課長様

がご来賓としてお越しくださり、素晴らしい大会となりました。今年度の大会は、太田市に近接する高校八校から弁論の部七人、英語スピーチの部七人の生徒が参加し、学校生活や将来の夢、あるいは国際理解など幅広いテーマについて自分の考えを自分の言葉で表現しました。参加者の学校からも生徒や先生あるいは保護者の方々が応援に駆けつけてくれました。また、今年度もユネスコ協会

役員の方々による手作りカレーライスを大会出場者や大会運営係の生徒に振る舞っていただき、大変ありがとうございました。年々出場者のレベルも上がり、今回も弁論の部・スピーチの部ともに非常にレベルの高い内容の発表でした。

入賞者には賞状と盾が、参加者全員に記念品が贈呈されました。緊張感あふれる中にも和やかな大

会は、審査員の方から具体的に愛情あふれる講評をいただくことができ、今後の糧とすることができたと思います。

大会の開催にあたり、御支援いただいた関係団体に感謝を申し上げますとともに、当日、審査委員としてお力添えをいただきました各団体代表の皆様、太田市教育委員会指導主事、A.L.T.の先生方に心からお礼申し上げます。

【弁論の部】

第一位「踏み出す勇氣」

太田商業高校三年 田畑 愛理

第二位「心の国境線」

太田女子高校一年 山本 エリ

第三位「私にとつてのしあわせ」

常磐高校一年 椎名 美月

【スピーチの部】

第一位「Peace Chain」

太田高校二年 小倉 佑太

第二位「What Makes Your Life Valuable」

太田東高校三年 川島 藍

第三位「For the word to live happily with important person」

太田女子高校二年 高橋理恵子

